

釧路森林資源活用円卓会議

平成27年度の取組

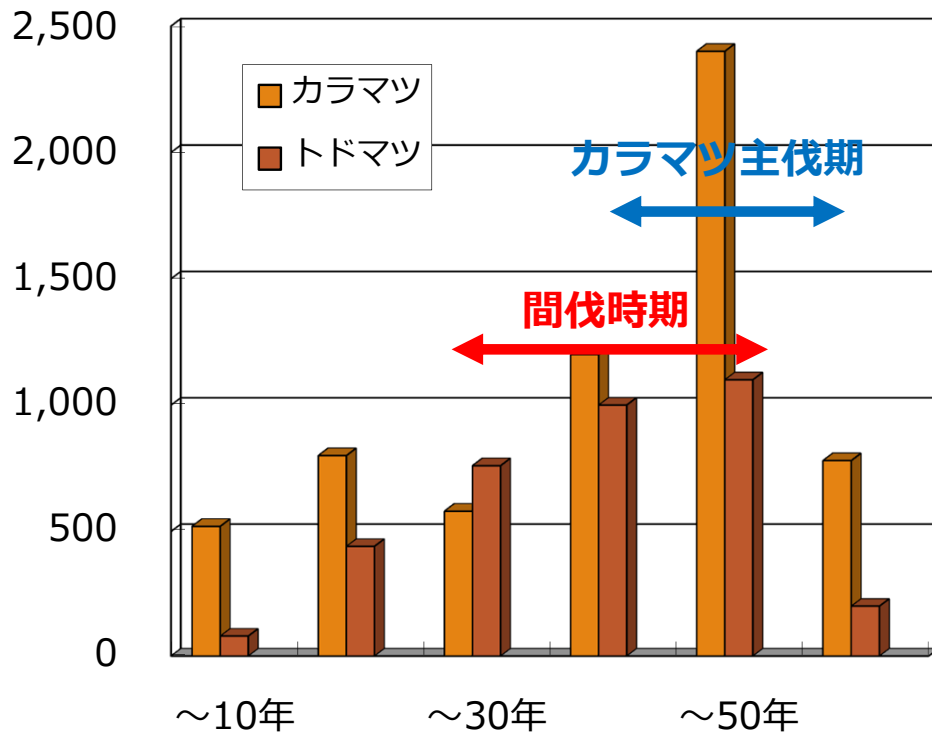


釧路市有林の状況

	平成26年度実績	平成27年度計画
間伐 (ha)	117.13	179.36
除伐 (ha)	—	—
樹下植栽 (ha)	60.38	51.49
更新伐 (ha)	51.49	64.86
出材量 (m ³)	7,447.467	

市有林面積 5,189ha (うち音別地区 2,763ha 阿寒地区 1,422ha)

釧路市内の一般民有林資源



豊富な森林資源の有効活用

釧路森林資源活用円卓会議の取組
～木づなプロジェクト～

地域産業の振興
多面的機能を発揮する森林の整備

くしろ木づなプロジェクト

釧路森林資源活用円卓会議は、地元の森林とそこから生まれる木材を活用する団体・企業により平成22年に発足しました。

会議によりさまざまな検討を行い、その具体的な取組は「くしろ木づなプロジェクト」として実施されています。



木づなプロジェクト 「これまで」と「これから」

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<p><u>もっと知る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域材の品質を明確に示しユーザーの信頼構築 ・流通コストの明確化とコストの低減 	<ul style="list-style-type: none"> ●品質（強度・燃焼） ●流通コスト 	<ul style="list-style-type: none"> ●品質（木造住宅気密測定試験） ●市有林森林経営計画 	<ul style="list-style-type: none"> ●品質（高性能林業機械巧程調査・阿寒）（ハイブリッドログハウス工法開発） 	<ul style="list-style-type: none"> ●釧路型森林作業道モデル検討開始
<p><u>もっと使う</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客ニーズに合った商品提供 ・地域内での幅広い使い道の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共（西部子育て支援拠点センター） ●商品（フローリング、カーフハッチ） 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共（動物園木道、振興局等） ●商品（ダイニングセット、カホン等） 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共（アルパカ舎、とんけし児童C、MOO等） ●商品（展示会等） ●民間（和商市場テーブル） 	<ul style="list-style-type: none"> ●公共（音別町行政センター、国設阿寒湖畔スキー場ウォッチングハウス） ●民間（大楽毛よしの幼稚園、釧根電気工事業協同組合） ●商品（イーゼル、エステー、幼児用椅子等）
<p>●学習機の導入 ㊸音別小 ㊸阿寒小 ●くしろ・ねむろ「木づな」の家（地域型住宅ブランド化事業）</p>				
<p><u>もっと伝える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成、利用するエンドユーザ（応援団）増加 	<ul style="list-style-type: none"> ●域内利用 木づくりMAP、ポスター こどもフレンドパーク 	<ul style="list-style-type: none"> ●経験の伝承（研修会・シンポジウム） <p>ラッピングバス、リーフレット、マグネット メイドイン釧路</p>	<p>ラッピングバス、ポスター、シール、木育教室、木育講座、釧路安心住まいフェア</p>	<p>くしろ木づなフェスティバル きたのき文化祭（札幌市） 「商品開発の事業戦略」検討開始</p>

くしろ木づなフェスティバル

平成26年10月25日(土)～26日(日) at 釧路市コミュニティ体育館(鳥取ドーム)

平成26年10月25日～26日釧路市コミュニティ体育館(鳥取ドーム)で「くしろ「木づな」フェスティバル」を開催。イベントには釧路管内を中心に28の団体・企業が参加、36のイベント・ブースを運営しました。天候にも恵まれ、来場者は2日間で2,288人と、盛況のうちに2日間の会期を終えることができました。



木づなプロジェクト 「これまで」と「これから」

これまでの活動から多くの成果を生み、様々な課題を発見しました。

そこで平成26年度までの取組を円卓会議の第1期「地域内の問題点を共有、解決するための仕組みづくりの期間」として総括し、平成27年度以降を円卓会議の第2期「行動を拡大する期間」として再展開していきます。

成果	課題	第2期の展開方向（案）
低コスト林業のためには路網整備が必要不可欠という認識	トータルとしての路網整備の技術が普及していない。シカ対策も必要。	路網整備モデルの検討 シカ対策のコスト削減の検討
実証試験や試作を終えたものを順次商品展開	価格戦略及び販売に向けたグランドデザインの不足	管外の実証と連携を図る 外部の視点を導入する 常設展示場などの普及手段を増やす
公共施設における地域材需要が拡大	民間施設における普及が不十分	技術センターがコーディネート機能に重点を移していけるようなしくみをつくる
工業技術センターの木工相談件数が大幅に増加	試作品製作等、それぞれの役割分担が十分に機能していない	森林と繋がりのある活動を実施 木育など様々な切り口でアプローチ
こども、川下を対象とした普及活動を実施	森林への意識や、購買層への訴求が不十分。 単独イベントがない。	

木づなプロジェクト 平成27年度活動(案)

平成27年度(案)

<u>もっと知る</u>	<ul style="list-style-type: none">●品質 より効率的かつ低コストな施業モデルに向けて ・・・作業道モデルの検討、国・道・民有林間の情報交換
<u>もっと使う</u>	<ul style="list-style-type: none">●公共 釧路市役所防災庁舎、市内小学校への学習机導入●商品 ネームホルダー、小さな木の家づくりキット等 「くしろ木づなプロジェクト商品開発の事業戦略」に基づく商品開発●民間 くしろ・ねむろ「木づな」の家 「店舗・事務所等における地域材利用検討委員会」(北海道)への参画
<u>もっと伝える</u>	<ul style="list-style-type: none">●研修 人材育成研修会等の実施(木造住宅講演会)●域内利用 メディアを活用したPR、木工教室や木育講座を通じた普及 第1期円卓会議の活動冊子発行 イベントへの出展●域外利用 成果品の常設展示(調整中)